

開催日時：1月30日（日）9時～10時30分

**「インターセクショナリティの実践的探求 ―非異性愛者の当事者性を軸に―」**

**【主発表者】**

高橋康史（名古屋市立大学）

**【連名発表者】**

西井開（立命館大学大学院／日本学術振興会）・元山琴菜（北陸先端科学技術大学院大学）・今野貴矢（チーム・脱スティグマ／名古屋市立大学人文社会学部3回生）

**【内容】**

インターセクショナリティ（交差性）とは、複合的なマイノリティ状態に置かれた者が、複数のカテゴリーにどのような影響を受け、権力的な抑圧を受けているのかを理解する分析ツールである。アメリカでは、対人援助に携わる専門職の間でインターセクショナリティという概念が浸透し、政治的なプロジェクトに用いられている。そこで、日本における対人援助とインターセクショナリティを主題とする。

本企画では、現代の日本社会におけるインターセクショナリティを踏まえた実践の探求とそれらの研究への汎用可能性に向けて話題提供と対話を試みる。特に、非異性愛者の当事者性を軸としながら、LGBTQA というカテゴリーのみでは説明し得ない非異性愛者の抑圧の経験を理解しつつ、その複雑な抑圧の経験に対する実践的なアプローチについて議論を試みる。